



2023年2月14日

各位

会社名 株式会社 N J S  
代表者名 代表取締役社長 村上 雅 亮  
(コード番号：2325 東証プライム市場)  
問合せ先 常務取締役 蒲谷 靖彦  
(TEL：03-6324-4355)

## 剰余金の配当及び次期配当予想（増配）に関するお知らせ

当社は、2023年2月14日開催の取締役会において、下記のとおり2022年12月31日を基準日とする剰余金の配当を行うこと、及び次期配当予想を決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、2022年12月期に係る剰余金の配当につきましては、2022年12月20日に公表いたしましたとおり、1株当たり前期比5円の増配となる1株当たり40円とする議案を、2023年3月28日開催予定の第73回定時株主総会におきまして付議する予定であります。

### 記

#### 1. 2022年12月期期末 配当の内容

##### ① 決定の内容

	決定額	直近の配当予想 (2022年12月20日発表)	前期実績 (2021年12月期)
基準日	2022年12月31日	2022年12月31日	2021年12月31日
1株当たり配当金	40円	40円	35円
配当金総額	382百万円	—	334百万円
効力発生日	2023年3月29日	—	2022年3月28日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

##### ② 理由

当社が取り組んでいる「水と環境」の事業につきましては、気候変動の進行、自然災害の激化、新型コロナのパンデミックなどの状況下で、安全・衛生・環境をまもるインフラとして重要性が高まり、新たな社会課題への対応も求められています。

当社は、コンサルティング、ソフトウェア、インスペクション、オペレーションの幅広い分野で「水と環境」を支え、新たな事業価値の創出を推進しています。

「水と環境」の重要性と今後の事業拡大を踏まえて、ステークホルダーの理解促進と株主価値の増大を目的として増配を行うものです。

2022年12月期の配当額につきましては、当該基本方針に基づき、利益剰余金を配当原資とし、1株当たり40円とする議案を定時株主総会に上程することといたしました。これにより、中間配当と合わせた通期1株当たり配当金は75円となります。

(ご参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当額		
	第2四半期末	期末	年間
当期実績 (2022年12月期)	35円	40円	75円

## 2. 2023年12月期(次期)配当予想(増配)

2023年12月期につきましても、業績の見通しや過去の配当実績及び配当性向等を勘案し、株主への長期安定した利益還元を推進するため、2023年12月期に続き1株につき5円の増配となる、1株当たり80円(うち中間配当40円)といたしました。

(参考) 年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当額		
	第2四半期末	期末	年間
次期予想 (2023年12月期)	40円	40円	80円
当期実績 (2022年12月期)	35円	40円	75円
前期実績 (2021年12月期)	30円	35円	65円

注) 当期実績(2022年12月期)の数値は第73回定時株主総会において剰余金の配当議案が原案どおり承認されることを前提に記載しております。

以上